

幼児期の教育における学びを探る

～主体的・対話的で深い学びを促す
環境の構成と教師の援助～



金沢大学人間社会学域
学校教育学類附属幼稚園

2017

正誤表

p 1 0 7. 今後の課題 1行目

(誤) 次期幼稚園指導要領 (正) 次期幼稚園教育要領

まえがき

これまで3年にわたって、幼児期の学びがその後の就学後の学習や生活に効果的につながってゆくにはどうすればよいのか、また、そのために何が必要なのかという保幼小連携・接続の研究に本園は取り組んで参りました。一昨年度に石川県内の幼稚園、こども園、保育所、小学校に「幼小連携」についてのアンケートを行った結果の分析を発表いたしました。その中で明らかになってきたいくつかの課題を踏まえて幼小をつなげる視点としての「主体的・対話的で深い学び」（「アクティブ・ラーニング」）の可能性を研究し、「幼児期の教育はすでにアクティブ・ラーニングそのものである」との認識を深め、さらに、幼児の「主体的・対話的で深い学び」を促すための「環境構成」と「教師の援助」はどのようにあるべきかについて考察いたしました。このような「主体的・対話的で深い学び」は生きる力の基礎を育むための「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の能力・資質を一体的に育むものともなることでしょう。

今年度の研究紀要は研究テーマを『幼児期の教育における学びを探る』～主体的・対話的で深い学びを促す環境の構成と教師の援助～としました。本園における日々の幼児の遊びや生活を記録し、それより抽出した事例を上にも述べました視点から考察した本研究が保幼小連携・接続の取り組みに何らかの貢献となりましたならば幸いに存じます。

さて、本年度も本園におきまして6月と11月の2回にわたって保育を公開いたします。これまでの研究の成果、私たちの取り組みについての報告等を多様な観点からご覧いただき、忌憚のないご意見、ご指摘、ご感想をいただけますようお願いいたします。

最後に、熱心なご指導をいただきました諸先生方をはじめ、ご多用の中ご来会いただきました皆様に心より御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

平成29年6月

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園長 山下 浩